

講義名	経営情報システム論(経営学科)			授業形態	
担当教員	赤川 元昭	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	3 年生
				ナンバリング・コード	INF364
主題と概要					
コンピュータに代表される情報技術の進歩は目覚しく、20世紀後半以降、われわれの社会を大きく変革してゆく原動力となっている。経営情報システム論では、学生が情報技術に関する基本的な知識を身につけることを目的とする。また、講義内容を具体的に理解しやすいものにするため、ビデオなどの視聴覚教材をできる限り利用する予定である。なお、当講義は、「経営情報論(後期開講)」と一対をなす科目であり、情報技術に関する基本的な知識については、この「経営情報システム論(前期開講)」で詳しく解説する。どちらの科目から履修しても全く問題ないが、情報技術について、まったくの理解不足だと不安をもつ学生であれば、この経営情報システム論から履修するのがいいのではないかと思う。					
到達目標					
・情報化時代を生きる社会人として、最低限必要な情報技術に関する知識を身につける（たとえば、ごく基礎的な情報技術用語を説明することができる）。 ・企業の事例を通じて、情報技術が企業活動のどのような局面で利用され、どのように役立っているのかを具体的に述べることができる					
提出課題					
講義期間中、複数回の提出課題を出題する。また、アンケートを行う場合がある。					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
提出課題については、講義期間中にその解答の解説を行う。なお、アンケートについては、特にフィードバックは行わない。					
評価の基準					
・講義期間中に実施される複数の提出課題の合計をもとに評価する。 ・ここ数年では、合格者の割合は70％程度、平均点は約70点である。					
履修にあたっての注意・助言他					
ごく当たり前のことだが、他の受講生に迷惑をかけるような行為（私語など）は慎むこと。					
教科書					
.使用しない。					
参考文献					
.相木先生のＩＴパスポート教室 令和07年.					
.経営情報システム(第4版).		宮川公男	中央経済社	3080	4502091707

その他	
授業計画	
1 はじめに：この講義の概要 復習内容：本講義は、情報化時代における良きイントロダクションを提供することを主旨としており、予習については基本的に必要としていない。このため、復習内容についてのみ言及する。復習は、講義の後、毎回、講義ノートを整理し、授業内容の理解を深めることが基本である。ほかには、講義内容についてのさらなる理解を深めるために、参考図書で取り上げた文献の該当する箇所を復習してもらいたい。ちなみに、参考図書1では、解説だけでなく、解説を的確に理解したかどうかを確認するための確認問題が掲載されている。単に解説を読むだけでなく、こうした確認問題に解答することによって、さらに理解が深まるのではないかとと思う。これらに要する時間はおおむね4時間程度である。 2 情報化社会 復習内容：講義ノートを整理し、授業内容の理解を深める。参考図書の該当箇所を熟読する。参考図書2「1・1 情報化時代における企業経営」。これらに要する時間はおおむね4時間程度である。 3 ハードウェア（ハードウェア構成） 復習内容：講義ノートを整理し、授業内容の理解を深める。参考図書の該当箇所を熟読する。参考図書1「1-02コンピュータの構成とCPU」。これらに要する時間はおおむね4時間程度である。 4 ハードウェア（CPU） 復習内容：講義ノートを整理し、授業内容の理解を深める。参考図書の該当箇所を熟読する。参考図書1「1-02コンピュータの構成とCPU」。これらに要する時間はおおむね4時間程度である。 5 ハードウェア（記憶装置） 復習内容：講義ノートを整理し、授業内容の理解を深める。参考図書の該当箇所を熟読する。参考図書1「1-03主記憶と補助記憶」。これらに要する時間はおおむね4時間程度である。 6 ソフトウェア 復習内容：講義ノートを整理し、授業内容の理解を深める。参考図書の該当箇所を熟読する。参考図書1「2-01ソフトウェア」。これらに要する時間はおおむね4時間程度である。 7 情報処理方式 復習内容：講義ノートを整理し、授業内容の理解を深める。参考図書の該当箇所を熟読する。参考図書1「3-01コンピュータの形態」および「3-02JISX構成」。これらに要する時間はおおむね4時間程度である。 8 ビットとバイト 情報処理の単位 復習内容：講義ノートを整理し、授業内容の理解を深める。参考図書の該当箇所を熟読する。参考図書1「1・01情報に関する理論」および「1・09基数変換」。これらに要する時間はおおむね4時間程度である。 9 日本語処理 復習内容：講義ノートを整理し、授業内容の理解を深める。参考図書の該当箇所を熟読する。参考図書1「1・01情報に関する理論」。これらに要する時間はおおむね4時間程度である。 10 マルチメディア（音声処理） 復習内容：講義ノートを整理し、授業内容の理解を深める。参考図書の該当箇所を熟読する。参考図書1「2・08マルチメディア」。これらに要する時間はおおむね4時間程度である。 11 マルチメディア（画像処理） 復習内容：講義ノートを整理し、授業内容の理解を深める。参考図書の該当箇所を熟読する。参考図書1「1・05入出力装置」。これらに要する時間はおおむね4時間程度である。 12 マルチメディア（圧縮技術） 復習内容：講義ノートを整理し、授業内容の理解を深める。参考図書の該当箇所を熟読する。参考図書1「2・08マルチメディア」。これらに要する時間はおおむね4時間程度である。 13 AI 復習内容：講義ノートを整理し、授業内容の理解を深める。参考図書の該当箇所を熟読する。参考図書1「1-07AI」。これらに要する時間はおおむね4時間程度である。 14 情報技術とその社会的インパクト 復習内容：講義ノートを整理し、授業内容の理解を深める。参考図書の該当箇所を熟読する。参考図書2「1・1 情報化時代における企業経営」。これらに要する時間はおおむね4時間程度である。 15 予備日	
授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	
本科目の到達目標を達成することは、本学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）における、「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」となるために「卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力」及び「基礎能力」の中の次の項目に寄与する。 ・課題発見・課題解決に必要な情報を特定し、適切な手段を用いて収集・調査、整理することができる（情報収束力） ・収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握することができる（情報分析力）	
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述	
実務経験の有無及び活用	
大手国産コンピュータメーカーのSE（システムエンジニア）、研究員としての実務経験あり。	
備考	